(19)日本国特許庁(JP)　(12)特　許　公　報(B2)　(11)特許番号

特許第3783177号

(P3783177)

(45)発行日　平成18年6月7日(2006.6.7)　(24)登録日　平成18年3月24日(2006.3.24)

(51)Int.Cl.		F I		
B42D 15/02	(2006.01)	B42D	15/02	501B
B42D 11/00	(2006.01)	B42D	11/00	A
G09F 3/03	(2006.01)	G09F	3/03	D

請求項の数 4　(全 8 頁)

(21)出願番号　特願平9-206902
(22)出願日　平成9年7月31日(1997.7.31)
(65)公開番号　特開平11-48646
(43)公開日　平成11年2月23日(1999.2.23)
審査請求日　平成14年7月15日(2002.7.15)

(73)特許権者　000110217
トッパン・フォームズ株式会社
東京都港区東新橋一丁目７番３号
(74)代理人　100062225
弁理士　秋元　輝雄
(72)発明者　西川　吉裕
千葉県市川市田尻４－１－３３
(72)発明者　菅原　秀仁
東京都世田谷区桜２－８－５

審査官　武田　悟

最終頁に続く

(54)【発明の名称】隠蔽ラベルを備えた葉書用シートと隠蔽ラベルの貼着方法

(57)【特許請求の範囲】

【請求項１】

複数枚の紙片が折り部を介して連接して折り重ね可能に設けられ、一つの紙片に、片面に隠蔽情報記入部を有する葉書が切り取り用ミシン目などの分離線から分離可能に設けられた葉書用シートにおいて、

剥離可能に貼着する貼着手段を備えてこの貼着手段が剥離紙で覆われた隠蔽ラベルを有し、前記隠蔽ラベルの一辺に該隠蔽ラベルを延設して貼着手段が表出してなる綴じ部を設けるとともに、前記葉書を分離可能に有する紙片に隣り合う隣接紙片に前記綴じ部に対応した綴じ部対応部を設けて、前記綴じ部を綴じ部対応部に剥離可能に綴じ合わせ、

前記隠蔽ラベルの綴じ部が剥離可能に綴じ合わされる綴じ部対応部に沿った位置を折り元として葉書側に折り返し可能な切り起こし片を前記隣接紙片に設け、

前記切り起こし片を前記隠蔽ラベルの綴じ部側に設けた取り付け部に取り付けて、前記切り起こし片の折り返しとともに、前記隣接紙片の綴じ部対応部から前記綴じ部を剥離した隠蔽ラベルを、葉書の隠蔽情報記入部を覆う位置に平行移動可能に設け、

前記隠蔽ラベルに、該隠蔽ラベルが平行移動して隠蔽情報記入部を覆うときの前記分離線に対応位置にして切り取り部を設けたことを特徴とする隠蔽ラベルを備えた葉書用シート。

【請求項２】

上記綴じ部は隠蔽ラベルの一辺を剥離紙とともに延設してなり、上記綴じ部対応部は、前記綴じ部の貼着手段を覆う部分の剥離紙を分割形成して上記隣接紙片に取り付けたもので

ある請求項１に記載の隠蔽ラベルを備えた葉書用シート。
【請求項３】
上記取り付け部は剥離紙に貼着手段が覆われた綴じ部を延設してこれに取り付け片を取着してなるものである請求項２に記載の隠蔽ラベルを備えた葉書用シート。
【請求項４】
請求項１から３の何れか一項に記載の葉書用シートの葉書における隠蔽情報記入部を上記隠蔽ラベルで隠蔽するにあたり、
隠蔽情報記入部に所定情報を記載した後に、隠蔽ラベルの綴じ部を隣接紙片の綴じ部対応部から剥離して上記切り起こし片の折り返しにより隠蔽ラベルを葉書側に平行移動させて隠蔽情報記入部に対応位置させ、前記綴じ部を葉書に貼着した後に、剥離紙を剥ぎ取って隠蔽情報記入部全体に隠蔽ラベルを貼着して隠蔽情報記入部を隠蔽することを特徴とする隠蔽ラベルの貼着方法。
【発明の詳細な説明】
【０００１】
【発明の属する技術分野】
本発明は葉書の隠蔽情報記入部を隠蔽することができるようにした葉書用シートに関するものである。
【０００２】
【発明が解決しようとする課題】
従来から銀行などの金融業者やデパートなどの大規模小売業者、通信販売業者などにおいて新サービスの案内や新商品の案内を顧客向けに行う場合、その新サービスや新商品の案内状とともに顧客側からの申込を受けるための葉書を併せて提供するようにしており、そして、その案内状と葉書とを組み合わせる手間を省くため、案内状自体に切り取り用ミシン目などを入れて葉書を分離可能にしたものが多く利用されるようになってきている。また、一般的に申し込みなどに用いる葉書には各種の個人情報を記載することから、葉書の送付途中などでこの情報が見られないように隠蔽することが望まれている。このような点から、前述した案内状などにおいても隠蔽部材を備え付けるようにしている。
【０００３】
図６と図７は葉書に記載した情報が隠蔽されるようにした隠蔽ラベルを備える葉書用シート１を示していて、この葉書用シート１は二枚の紙片２，３が折り部４を介して連接されて折り部４より折り重ね可能に設けられている。前記二枚の紙片２，３の内、一方の紙片２には、片面を隠蔽情報記入部５とした葉書６が切り取り用ミシン目などからなる分離線７を前記折り部４に沿って、また、下辺側の部分で紙片２の幅方向に入れることによって分離可能に設けられている。そして、隠蔽情報記入部５の折り部４側の辺部に沿って隠蔽ラベル８が綴じ合わされている。この隠蔽ラベル８は隠蔽情報記入部５を覆うことのできる大きさに形成されてその隠蔽情報記入部５の側辺部に綴じ合わせることで対応位置しており、裏面に設けた粘着剤からなる貼着手段９の一辺側を表出させて綴じ部１０とし、この綴じ部１０によって隠蔽情報記入部５の側辺部に綴じ合わせ、他の部分の貼着手段９は剥離紙１１で覆っている。前記貼着手段９は、葉書表面に対して剥離可能に貼着するようにその接着力が調整されている。
上記隠蔽情報記入部５に所要の情報を記載した後には、上記剥離紙１１を剥ぎ取って隠蔽ラベル８を貼着すればよく、この隠蔽ラベル８の貼着によって隠蔽情報記入部５が覆われる。そして、上記分離線７から葉書６を分離する。この状態で送付されて受取人側では前記隠蔽ラベル８を剥離して隠蔽情報記入部５に記載されている情報を見ることになる。
しかしながら、上記した葉書用シート１では、葉書６の隠蔽情報記入部５の側辺部に隠蔽ラベル８を綴じ合わせるためのスペースを必要とするために、隠蔽情報記入部５を大きくすることができないという問題がある。
そこで本発明は上記事情に鑑み、隠蔽ラベルで隠蔽情報記入部を覆うことができるようにしながら葉書側に隠蔽ラベルを取り付けるためのスペースを設けないようにすることを課題とし、葉書に広い隠蔽情報記入部を設けるようにすることを目的とする。

【０００４】
【課題を解決するための手段】
本発明は上記課題を考慮してなされたもので、複数枚の紙片が折り部を介して連接して折り重ね可能に設けられ、一つの紙片に、片面に隠蔽情報記入部を有する葉書が切り取り用ミシン目などの分離線から分離可能に設けられた葉書用シートにおいて、剥離可能に貼着する貼着手段を備えてこの貼着手段が剥離紙で覆われた隠蔽ラベルを有し、前記隠蔽ラベルの一辺に該隠蔽ラベルを延設して貼着手段が表出してなる綴じ部を設けるとともに、前記葉書を分離可能に有する紙片に隣り合う隣接紙片に前記綴じ部に対応した綴じ部対応部を設けて、前記綴じ部を綴じ部対応部に剥離可能に綴じ合わせ、前記隠蔽ラベルの綴じ部が剥離可能に綴じ合わされる綴じ部対応部に沿った位置を折り元として葉書側に折り返し可能な切り起こし片を前記隣接紙片に設け、前記切り起こし片を前記隠蔽ラベルの綴じ部側に設けた取り付け部に取り付けて、前記切り起こし片の折り返しとともに、前記隣接紙片の綴じ部対応部から前記綴じ部を剥離した隠蔽ラベルを、葉書の隠蔽情報記入部を覆う位置に平行移動可能に設け、前記隠蔽ラベルに、該隠蔽ラベルが平行移動して隠蔽情報記入部を覆うときの前記分離線に対応位置にして切り取り部を設けたことを特徴とする隠蔽ラベルを備えた葉書用シートを提供して、上記課題を解消するものである。
そして、もう一つの発明は、上記葉書用シートの葉書における隠蔽情報記入部を上記隠蔽ラベルで隠蔽するにあたり、隠蔽情報記入部に所定情報を記載した後に、隠蔽ラベルの綴じ部を隣接紙片の綴じ部対応部から剥離して上記切り起こし片の折り返しにより隠蔽ラベルを葉書側に平行移動させて隠蔽情報記入部に対応位置させ、前記綴じ部を葉書に貼着した後に、剥離紙を剥ぎ取って隠蔽情報記入部全体に隠蔽ラベルを貼着して隠蔽情報記入部を隠蔽することを特徴とする隠蔽ラベルの貼着方法であり、この隠蔽ラベルの貼着方法を提供して上記課題を解消するものである。
【０００５】
【発明の実施の形態】
つぎに本発明を図１から図５に示す実施の形態に基づいて詳細に説明する。なお、図６と図７に示す従来例と構成が重複する部分は同符号を付してその説明を省略する。
図１、図２に示すように本発明の葉書用シート１において、葉書６の隠蔽情報記入部５を覆うために用いられる隠蔽ラベル８にあっては、一辺が隣接紙片３側に延設されていて、その延設部分の貼着手段９を上記剥離紙１１で覆うことなく表出させた綴じ部１０として設けており、この綴じ部１０を、葉書６の側方である隣接紙片３の綴じ部対応部１２に剥離可能に貼着させることで隠蔽ラベル８が紙片２から隣接紙片３に亘るようにして配置されている。前記綴じ部対応部１２にあっては、例えば、隣接紙片３に剥離紙などを固定してなるものとしたり、剥離剤を塗布してなるものとすることができる。
このように隠蔽ラベル８の綴じ部１０を隣接紙片３側に位置させていることから、葉書６の隠蔽情報記入部５は従来のようなラベル綴じ合わせ部分で制限されるということがなくなり、広い隠蔽情報記入部５を形成することができる。
【０００６】
上記綴じ部対応部１２を備える隣接紙片３においては、その綴じ部対応部１２に達するように略コ字状の切り込み１３を入れてその綴じ部対応部１２側を折り元とする切り起こし片１４が切り込み形成されており、その切り起こし片１４は折り元の部分から葉書６側へと折り起こすようにして回動可能に設けられているものである。
そして、この切り起こし片１４の先端は、図示されているように上記隠蔽ラベル８の綴じ部１０に沿って設けられた取り付け部１５（取り付け部１５は、例えば貼着手段９を有しないラベル本体などから形成されている）に連結されており、隠蔽ラベル８の綴じ部１０を綴じ部対応部１２から剥離した状態で前記切り起こし片１４の回動を伴ってその隠蔽ラベル８を葉書６側に平行移動できるように設けられている。また、前記切り起こし片１４とこれに連続する前記隠蔽ラベル８の取り付け部１５とのそれぞれの長さ（隠蔽ラベルの平行移動方向に亘る長さ）はその隠蔽ラベル８を葉書側に平行移動させたときに綴じ部１０が葉書６の上であって上記分離線７に沿って位置するように設定されており、このよう

に隠蔽ラベル８を平行移動させて上記切り起こし片１４が折り倒されたときに隠蔽ラベル８が適正に葉書６の隠蔽情報記入部５を覆うように設けられている。このように構成するには、切り起こし片１４の折り元から切り起こし片１４と取り付け部１５とを経て前記綴じ部１０に達する有効長さと、前記切り起こし片１４の折り元から分離線７までの距離が同じになるようにすればよい。

【０００７】

さらに、上記隠蔽ラベル８にあっては、この隠蔽ラベル８を葉書６の隠蔽情報記入部５を覆うために上述のごとく平行移動させた時に、上記分離線７に対応する位置に切取り用ミシン目などからなる切り取り部１６が設けられており、後述するように葉書分離時にこの切り取り部１６から隠蔽ラベル８が分離できるようにしている。

【０００８】

隠蔽ラベル８を用いて隠蔽情報記入部５を隠蔽するには、まず、上記綴じ部１０を隣接紙片３の綴じ部対応部１２から剥離し、切り起こし片１４を葉書６側に折り倒すように回動させながら隠蔽ラベル８を平行移動させる。この平行移動の距離は上述したように綴じ部１０が葉書６側での分離線７に沿う位置となるように規制されているものである。平行移動させた後に前記綴じ部１０を葉書６に貼着し、その隠蔽ラベル８を捲り上げるようにしながら貼着手段９を覆っている剥離紙１１を剥ぎ取って隠蔽情報記入部５に被せ付けるようにすればよく、図３と図４に示すように隠蔽ラベル８が貼着されて隠蔽情報記入部５が隠蔽される。

隠蔽ラベル８は予め葉書６上から隣接紙片３側にスライドした位置に配置され、かつ貼着時に葉書６側へ平行移動させることで隠蔽情報記入部５に対応するように設けられているため、隠蔽ラベル８の貼着時に改めて位置合わせを行う必要はない。　この後、折り部４に沿った分離線７から葉書６を分離すればよく、隠蔽情報記入部５を覆う隠蔽ラベル８も切り取り部１６から分離するものであり、よって、隠蔽ラベル８で覆われた葉書６が得られる。

【０００９】

上述した例において綴じ部１０の貼着手段９は隣接紙片３の綴じ部対応部１２に剥離可能に綴じ合わされているが、その綴じ部対応部１２は図５（イ）に示すように、綴じ部１０を隠蔽ラベル８の一辺を剥離紙１１とともに延設したものとし、綴じ部対応部１２では、前記綴じ部１０の貼着手段９を覆う部分の剥離紙１１を分割形成して隣接紙片３に取り付けるようにしてもよい。即ち、綴じ部１０の貼着手段９の表出形態が得られるように予め綴じ部１０に対応して剥離紙１１側にスリットを入れ、このスリットにより分割形成された剥離紙１１を隣接紙片３に固定するようにして綴じ部対応部１２を形成する。また、図５（ロ）に示すように、取り付け部１５にあっては、剥離紙１１に貼着手段９が覆われた前記綴じ部１０を剥離紙１１とともにさらに延設してこれに取り付け片１５′を取着することで形成することができ、このようにして形成された取り付け部１５に切り起こし片１４を取り付けるようにしてもよい。

【００１０】

上記した隠蔽ラベル１は隠蔽層を有するラベル片の裏面に上記貼着手段を設けたものとして説明したが、本発明はこれに限定されるものではなく、隠蔽層を有する上ラベル片と裏面に前記貼着手段が設けられている透明な下ラベル片とが疑似接着された構成のものであってもよく、隠蔽ラベル８を貼着した後、上ラベル片を剥離することで下ラベル片を通して隠蔽情報記入部５に記載されている情報を見ることができるようにすることも可能である。図において１７は剥離紙１１の剥ぎ取りを容易にするためのカス上げである。

実施例においては葉書用シート１として二片の紙片２，３が連接されたものを示したが、本発明はこれに限定されるものではなく、三枚以上の紙片が連接されて折り重ねできるもの、例えば、葉書部分が内方となるように折り重ねられて封書を形成する封書用紙に実施することもできる。

【００１１】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明によれば、複数枚の紙片が折り部を介して連接して折り重ね可能に設けられ、一つの紙片に、片面に隠蔽情報記入部を有する葉書が切り取り用ミシン目などの分離線から分離可能に設けられた葉書用シートにおいて、剥離可能に貼着する貼着手段を備えてこの貼着手段が剥離紙で覆われた隠蔽ラベルを有し、前記隠蔽ラベルの一辺に該隠蔽ラベルを延設して貼着手段が表出してなる綴じ部を設けるとともに、前記葉書を分離可能に有する紙片に隣り合う隣接紙片に前記綴じ部に対応した綴じ部対応部を設けて、前記綴じ部を綴じ部対応部に剥離可能に綴じ合わせ、前記隠蔽ラベルの綴じ部が剥離可能に綴じ合わされる綴じ部対応部に沿った位置を折り元として葉書側に折り返し可能な切り起こし片を前記隣接紙片に設け、前記切り起こし片を前記隠蔽ラベルの綴じ部側に設けた取り付け部に取り付けて、前記切り起こし片の折り返しとともに、前記隣接紙片の綴じ部対応部から前記綴じ部を剥離した隠蔽ラベルを、葉書の隠蔽情報記入部を覆う位置に平行移動可能に設け、前記隠蔽ラベルに、該隠蔽ラベルが平行移動して隠蔽情報記入部を覆うときの前記分離線に対応位置にして切り取り部を設けたことを特徴とするものである。そして、もう一つの発明は、載の葉書用シートの葉書における隠蔽情報記入部を上記隠蔽ラベルで隠蔽するにあたり、隠蔽情報記入部に所定情報を記載した後に、隠蔽ラベルの綴じ部を隣接紙片の綴じ部対応部から剥離して上記切り起こし片の折り返しにより隠蔽ラベルを葉書側に平行移動させて隠蔽情報記入部に対応位置させ、前記綴じ部を葉書に貼着した後に、剥離紙を剥ぎ取って隠蔽情報記入部全体に隠蔽ラベルを貼着して隠蔽情報記入部を隠蔽することを特徴とする隠蔽ラベルの貼着方法である。このように予め葉書の隠蔽情報記入部に対応して覆うことができるように所要位置に隠蔽ラベルが配置されているので、位置決めを行うことなく貼着が行え、さらに、隠蔽情報記入部に所要の情報を記載した後に、隠蔽ラベルを葉書側に平行移動させ、綴じ部を葉書に貼着さてから全ての貼着手段を表出させて貼着するという簡単な操作により隠蔽が行える。

また、葉書側に隠蔽ラベルが綴じ合わされていないため、隠蔽情報記入部を大きく取ることができ、より多くの情報を記載できるようにその隠蔽情報記入部の拡大化が図り易くなるなど、実用性に優れた効果を奏するものである。

【図面の簡単な説明】

【図１】本発明に係る葉書用シートの実施の例を示すもので、（イ）は隠蔽情報記入部がある片面を貼着前の状態で示す説明図、（ロ）は貼着前の状態を断面で示す説明図である。

【図２】実施の例のもう一方の片面を示す説明図である。

【図３】隠蔽ラベルを貼着した状態を示す説明図である。

【図４】隠蔽ラベルを貼着した状態を断面で示す説明図である。

【図５】他の例を示す説明図である。

【図６】従来例を示すもので、（イ）は隠蔽ラベルの貼着前の状態を示す説明図、
（ロ）は同じく貼着前の状態を断面で示す説明図である。

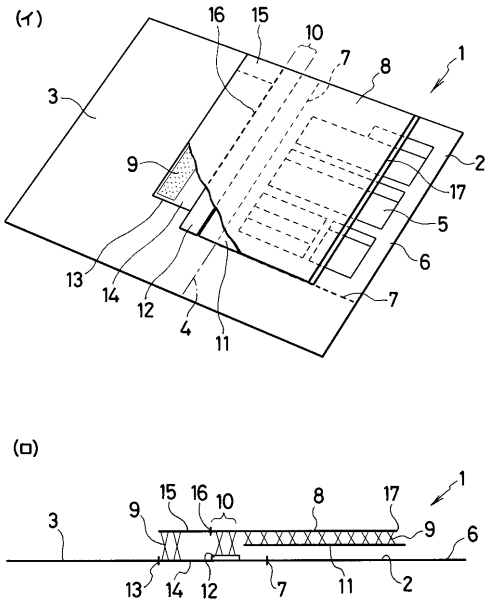
【図７】従来例において隠蔽ラベルを貼着した状態を示す説明図である。

【符号の説明】

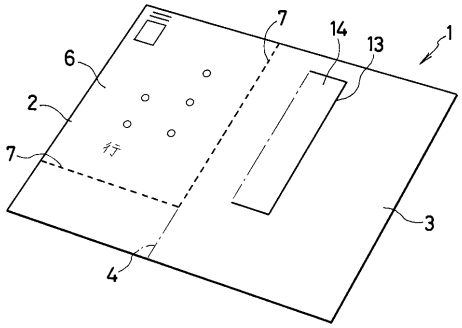
１…葉書用シート
２…紙片
３…隣接紙片
５…隠蔽情報記入部
６…葉書
７…分離線
８…隠蔽ラベル
９…貼着手段
１０…綴じ部
１１…剥離紙
１２…綴じ部対応部
１４…切り起こし片

１６…切り取り部

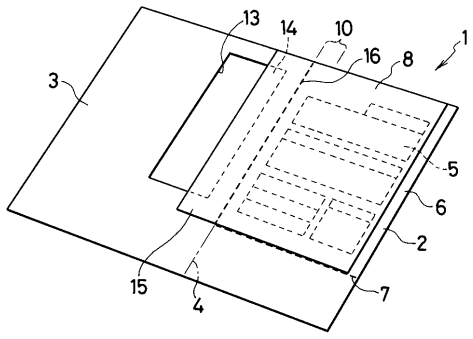
【図１】



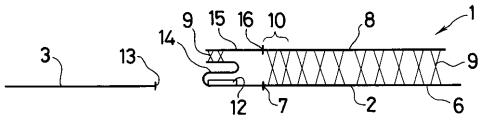
【図２】



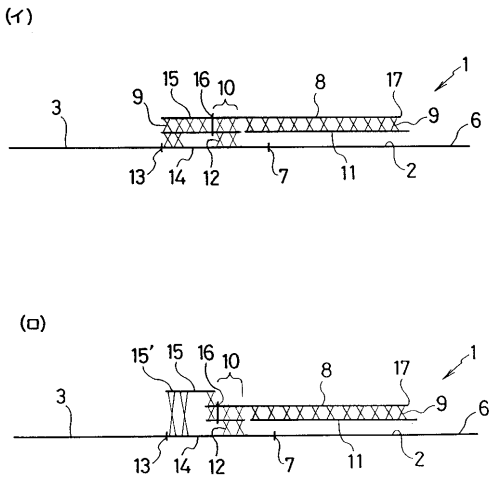
【図３】



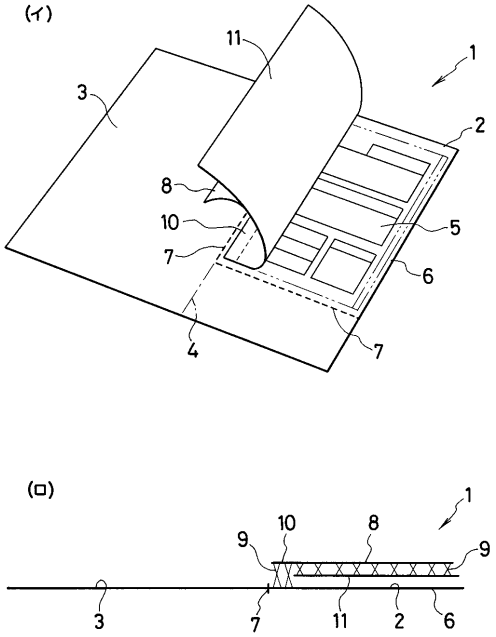
【図４】


1
2
3
6
7
8
9
10
12
13
14
15
16

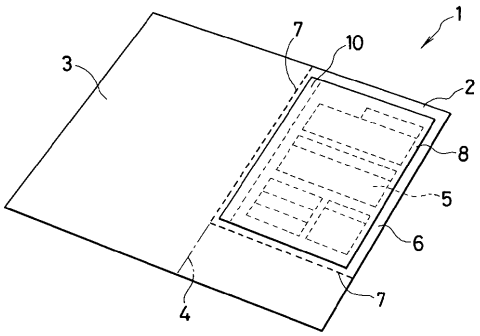
【図５】


(イ)
1
2
3
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
(ロ)
1
2
3
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15'
15
16
17

【図６】


(イ)
1
2
3
4
5
6
7
8
10
11
(ロ)
1
2
3
6
7
8
9
10
11

【図７】


1
2
3
4
5
6
7
8
10

フロントページの続き

(56)参考文献 特開平８－１５６４６４（ＪＰ，Ａ）
実開平５－４４５７１（ＪＰ，Ｕ）
特開平７－１０１１８３（ＪＰ，Ａ）
特開平８－１５６４６０（ＪＰ，Ａ）

(58)調査した分野(Int.Cl.，ＤＢ名)
B42D 15/02
B42D 11/00
G09F 3/03